

鹿嶋市SC (茨城県)

「お好みたい焼き」で地域活性

高齢者の健康維持、趣味・文化活動の場として運営するサロンで、「お好みたい焼き」を販売している。ヘルシーさが受けて話題になり、商店街の活性化にもつながっている。



見た目はたい焼き、中身はお好み焼き!? 鹿嶋市SC自慢のユニークな商品「お好みたい焼き」が、ネットと口コミで大人気。センターが運営する「いきいきサロンひまわり」の店頭にある「お好みたい焼き ひまわり本舗」で調理・販売を行っている

茨城県鹿嶋市は、常陸国一の宮である鹿島神宮の鳥居前町として古くから知られるほか、Jリーグ鹿島アントラーズの本拠地としても全国的に有名である。

たい焼きとお好み焼きが合体 ネットと口コミで大人気!

現在、公益社団法人鹿嶋市シルバー人材センターの「お好みたい焼き」が注目されており、センターが運営する「いきいきサロンひまわり」の店頭にある「お好みたい焼き ひまわり本舗」で調理・販売を行っている。

「いきいきサロンひまわり」事業は、平成二十七年度から地域ニーズ対応事業として実施。鹿島神宮の参道近くにある商店街の空き店舗を活用し、趣味・文化活動などを行うスペースを設けている。また、高齢者の生きがいづくりと居場所づくり役に役立つほか、子どもたちが気軽に立ち寄れるようにして子育て世代との交流を促進



生地の上に具材を置き、ソースをかける野口篤さん



たい焼きの型に生地を注入する大田八恵子さん



お好み焼きは、全部で4種類。写真上は、キャベツがたっぷり入った「ベーコン」と「ウインナー」。ソースとマヨネーズ、そして紅ショウガも入っていて、中身はまさに、お好み焼き



写真上の奥はスタンダードな「あんこ」、手前は「カレー」

するなど、地区商店街の活性化を図ることを目的としている。

「お好み焼き」で商店街を活性化

ここで販売する「お好み焼き」は、見た目はたい焼きで、中身はお好み焼きという、ほかではなかなか味わえないユニークな商品である。

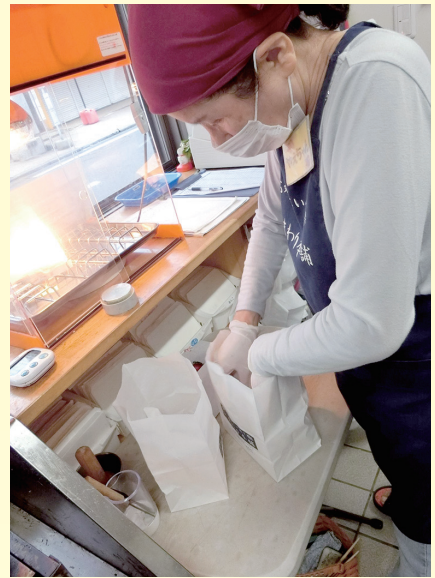
売れ筋ナンバーワンは、生地からはみ出すほど具材のキャベツがたっぷり入った「ベーコン」。ヘルシーさが受け、口コミで人気を集めている。価格は、一個百七十円（税込み）。

このほかに、パリッとおいしい「ウインナー」（百七十円/税込み）、ちよっぴりピリ辛の「カレー」（百三十円/税込み）がある。また、お客さんからの希望で、スタンダードな「あんこ」（百三十円/税込み）の販売も始めた。

お好み焼きを担当する野口篤さんは「シャッター通りになっ



お好み焼を担当する、鹿嶋市SCの会員たち



お好み焼は、手作りの袋（写真上）に入れて、アツアツの出来立てをお客さんに渡している（写真下）



PRを兼ねて、お好み焼も町のイベントに出店。すぐに行列ができるほど、地元の人たちに親しまれている



てしまった商店街を活性化するために、皆で何度も試作を繰り返し、おいしい商品を完成させました」と話す。

近くの高校に通う生徒にも試食してもらったところ、味も形も大好評。生徒たちがネットを通して広めた効果も大きいという。

また、さまざまなグルメサイトから取材され、人気が広がった。現在は、主に地元のリピーター

が買いに来ってくれるほか、鹿島神宮の参道に掲出した看板を見て参拝帰りに寄ってくれる観光客も増えてきた。

内野修事務局長は「生地は、普通のお好み焼きと比べるとほんのり甘みがあつて、これが喜ばれています」と、お好み焼のおいしさの秘密を教えてくれた。

展示・販売から体操講座まで サロン内の活動も活発

「いきいきサロンひまわり」の店内では、会員が育てた野菜や花



宮中地区商店街にある「いきいきサロンひまわり」は、鹿島神宮の参道近くに位置する。サロン内では、会員が育てた野菜が人気で、朝早く買いに来るお客さんもいる（写真右上）。家具や自転車のリサイクル品の販売もしている（写真右）



「いきいきサロンひまわり」で講座の世話や販売を担当する、手芸の会「一針の会」のメンバーと職員（写真上）。サロン内では、メンバーが製作した手芸品も展示・販売している（写真右）



き類、リサイクル品の販売もついている。また喫茶スペースもあり、高齢者の交流の場として地域の人たちから親しまれている。

サロン内ではさまざまな講座を設けており、取材日には高齢者の介護予防を目的とした体操「スクエアステップ」を行っていた。

スクエアステップとは、一辺二十五cmの正方形を横四個、縦十個並べたマットを利用し、その上で足踏み（ステップ）を行う運動プログラム。インストラクターが行ったステップを見て、同じ順番に間違わないように踏んでいく。インストラクターの正しいステップパターンを認識するために頭を使うことで認知機能の向上につながるほか、目的の枠を正確に踏むことで転倒予防になるという。

スクエアステップのインストラクター三人は、鹿嶋市のスポーツ推進委員である。佐々木享子さんは「最初は参加者が緊張しているので、対話をしながらリラックス

鹿嶋市SC (茨城県)



正方形を並べたマットの上で足踏み(ステップ)を行う「スクエアステップ」。高齢者の介護予防を目的とした体操で、体力の向上や転倒リスクの低減、認知機能の向上につながる



「いきいきサロンひまわり」では、「スクエアステップ」以外にも、卓球(写真左上)、スポーツ吹き矢(写真右上)、手芸(写真左下)、健康マージャン(写真右下)などの講座を行っている



させてあげます。人によってレベルもまちまちなので注意しています」と話す。

同サロンで講座の世話や販売を担当するのは、手芸の会「一針の会」のメンバーである。木滝ミトコさんは「市民との対応が楽しく、張り合いがあります」とほほ笑む。木賀美江子さんは「ここへ来ると、いろいろな人と会話ができるのが楽しいです。お嫁さんの愚痴を聞いてあげるのも、仕事だと思っています」と話す。大倉すみ江さんは「自分の方が元気をもらっています。家を出て気分転換になっています」と笑顔を見せた。

スクエアステップの講座が終わると、卓球が始まった。参加者はかなりの腕前の人が多く、長いラリーが続いていた。その傍らでは、講座を終えた参加者がコーヒーを飲みながら談笑していた。

商店街のこの一角は、会員の活躍で活気に満ちていた。

(長野 暁)